

2010年2月12日

学生証や社員証等にご利用いただける PASMO機能の付いたICカードを2010年3月から発行します

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:越村 敏昭)では、2010年3月から、交通乗車券や電子マネーとしてご利用いただけるPASMO機能の付いたICカードを、株式会社パスモと共同で発行します。本カードは、各種IC認証に加え、表面にお客さまご希望のデザイン・文字を印刷できる上、定期券印字部分の付いた裏面の一部にも、社名・学校名・組織名や注意書きなど、お客さまご希望の文字を印刷可能となっており、学生証や社員証にご利用いただける仕様となっています。

【当社が一括してカードの発行管理および在庫管理を実施】

お客さまがカードの在庫を抱える必要がなくなり、発注ロットに依存しないリーズナブルな価格で、多品種少量提供が可能となります。

これにより、従来、ICカード導入先として主流だった、大規模な学校・企業・会員組織だけでなく、幅広いお客さまにICカードと、それを活用したIC認証ソリューションを提供することができます。

【少量の追加発行や紛失再発行の不便さ解消】

お客さまから受注後最短5営業日での発行を実現するとともに、その間に使用可能な「仮カード」をお客さまのお手元で発行できるシステムを開発することにより、ICカードの発行を外部委託する際の不便さを解消します。

【ICチップメモリに当社独自領域を搭載】


独自領域を設けることでさまざまな用途に活用いただける仕様とし、これに交通乗車券や電子マネーとしてご利用いただけるPASMOの機能を付加するという発想のもとに開発しました。この当社独自の領域を活用することで、安価な汎用リーダーを使用できるにも関わらず、セキュリティレベルの高いシステムをご構築いただけます。このような本カードを活用した多彩なソリューションは、当社のパートナーベンダーから提供します。

今後も、教育・ビジネス・生活・エンターテインメント・レジャーなど、さまざまなシーンで活用可能なPASMO付カードの発行を目指します。

ICカード発行実績、本カードの技術的な特徴については、別紙をご覧ください。

PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。

株式会社パスモ商標利用許諾済 第64号(東京急行電鉄株式会社 許諾)

PASMOマーク  及び **PASMO** は株式会社パスモが本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

ICカードはソニー株式会社製のFeliCaを採用しています。

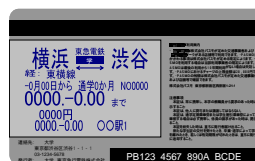
(別紙)

本カード券面デザイン例(学生証)

表面



裏面



2010年3月以降、下記の学校さま、企業さまが本カードを導入予定です。

【学生証】東京女学館大学、東京未来大学、日本体育大学、日本体育大学女子短期大学部、
イムス横浜国際看護専門学校、昌平中学校

【社員証】株式会社ワイエフテクノ、株式会社YRP コム、有限会社ケイシステム、サクサ株式会社、
東急セキュリティ株式会社、当社

【セキュリティーカード】東急建設株式会社、東急セキュリティ株式会社

通常のPASMOで各種IC認証を行う場合の課題を、本カードでは以下の通り解消しました。

【課題 IC認証ソリューションにおける低価格と高いセキュリティーレベルの両立】

通常のPASMOを活用する場合、システムは安価に構築できるが、高いセキュリティー性が求められる場合には不向きなIDm (FeliCaチップの製造番号)による認証か、セキュリティーは高いが、汎用リーダーが使用できないためシステムが高額かつ商品ラインナップが少ないIDi(交通乗車券用のID)による認証の二者択一でした。しかし本カードは、ICチップ内の当社独自の領域を活用することで、汎用のリーダーを使用できるにも関わらず、セキュリティーレベルの高いシステムをご構築いただけます。

【課題 IDの取得および個人情報との紐付け】

通常のPASMOは、駅で発行するため、IC認証に利用する際は登録の都度、お客さまの環境でIDを収集し、個人情報と紐付けるという運用が必要でした。しかし本カードは、カード発行時に、IDm、IDi、その他独自IDと個人情報を紐付けたデータを当社で生成し、お客さまに一括でご提供することができるため、システムへの個人情報登録の際のお客さまの運用業務軽減が図れます。

【課題 カードへの情報の書き込み】

通常のPASMOは、カード内に情報を書き込むことができなかつたため、スタンプカードのような使い方をする際にも、リーダーが上位システムサーバーと常時オンラインで繋がっているシステムを構築する必要がありました。しかし本カードは、カードの独自領域内に任意の情報を書き込むことができるため、そのような大規模な投資を行わずとも、サービスを展開することができます。

【課題 予告のないカード交換により生じるリスク】

通常のPASMOは、予告なく別のPASMOに交換されてしまう可能性があるため、お客さまの環境で、突然IC認証ができなくなるリスクがありました。しかし本カードは、交換の対象外となっているため、突然IC認証ができなくなることはありません。

ご提供可能なIC認証ソリューションの例

入退出管理、PCログイン管理、施設予約管理、プリント出力管理、PC操作ログの収集・解析、出欠管理、証明書発行、図書館管理 など、ご希望のICソリューションを、当社のパートナーベンダー各社から提供します。

当社のパートナーベンダー

サクサ株式会社、東芝プラントシステム株式会社、凸版印刷株式会社、東急建設株式会社

以上